

信長も利休も追い求めた。

秋季特別展

名物

— 由緒正しき宝物 —



2022 / 9.17(Sat) - 11.6(Sun)

Autumn Special Exhibition

Meibutsu: Treasured Objects with Provenance, Pedigree, and Prestige

- 開館時間＝午前10時～午後5時（入館は午後4時半まで）
- 休館日＝月曜日（但し、9/19【月・祝】・10/10【月・祝】は開館、9/20【火】・10/11【火】は休館）
- 観覧料＝一般 1,400円／高大生 700円／小中生 500円
- ※20名様以上の団体は一般 1,200円、高大生 600円、小中生 400円 ※土曜日は高校生以下入館無料
- 主催＝徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・日本経済新聞社 ●協力＝名古屋市交通局

徳川美術館

THE TOKUGAWA ART MUSEUM
TEL (052)-935-6262
FAX (052)-935-6261
〒461-0023 名古屋市東区徳川町

蓬左文庫

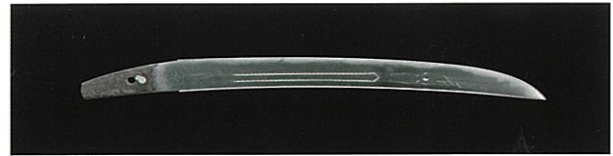
HOSA LIBRARY, CITY OF NAGOYA
TEL (052)-935-2173
FAX (052)-935-2174

室町時代頃から、茶の湯道具や刀剣などを主として、名の知られた優品は「名物」と呼ばれるようになりました。名物の条件には、そのものの魅力や世間で有名であることのみならず、豊臣秀吉などの戦国武将や千利休などの茶人といった歴史的人物によって有されていたこと—由緒—に重きが置かれていました。

江戸時代になると、名物の多くは各大名家によって収蔵され、また重大な局面での贈答や茶会で用いられることで、大名の家格をも象徴するようになります。さらに『玩貨名物記』や『享保名物帳』などの書物によって、名物が一覧に集約・刊行されると、名物は不動の宝物のごとく扱われるようにもなりました。

本展は、尾張徳川家が収蔵した茶の湯道具と刀剣を中心として、名だたる名物の数々をご覧いただくとともに、その展開をたどります。

※会期中展示替えがあります。前期：9月17日～10月16日/後期：10月18日～11月6日



重要文化財 脇指 無銘 貞宗 名物 物吉貞宗 および附属品
徳川家康・徳川義直(尾張家初代)ほか所持 南北朝時代 14世紀 徳川美術館蔵

名品コレクション展示室(第1展示室)にて
「重要文化財 刀 銘 本作長義…(以下58字略)」公開。
展示期間：9月21日～12月15日



重要文化財 刀 金象嵌銘 義弘 本阿(花押) 本多美濃守所持 名物 桑名江 本多忠政(伊勢桑名藩2代)ほか所持 南北朝時代 14世紀 京都国立博物館蔵 (前期)



重要文化財 太刀 号 獅子王 伝源頼政・徳川家康・土岐頼次ほか所持 平安時代 12世紀 東京国立博物館蔵

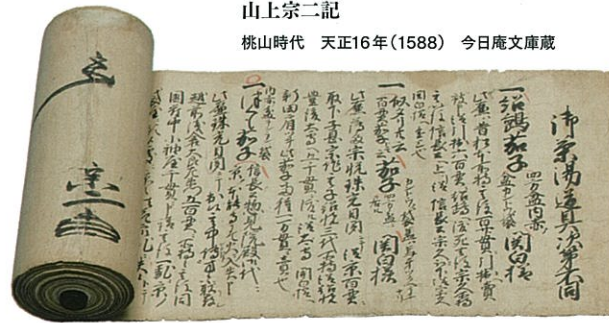
初公開含む、
茶の湯の名品が一堂に。

千利休竹茶杓 銘 泪 大名物
古田織部・徳川家康ほか所持
桃山時代 16世紀 徳川美術館蔵 (後期)



大井戸茶碗(龍光院井戸) 名物
伝千利休・津田宗及所持
朝鮮王朝時代 16世紀
大徳寺 龍光院蔵

山上宗二記
桃山時代 天正16年(1588) 今日庵文庫蔵



関連企画

●特別講座「問い直す名物刀剣のイメージ」
東京国立博物館 主任研究員 酒井元樹氏

日時：10月1日(土) 午後1時30分～3時(開場 午後1時)
定員：60名(事前申込制・応募者多数の場合は抽選)
参加費：2,000円(入館料別途要)
会場：講堂
申込締切：8月17日(水) 必着

●土曜講座「名物とは何か？」
徳川美術館 学芸員 加藤祥平

日時：10月29日(土) 午後1時30分～3時(開場 午後1時)
定員：60名(事前申込制ですすでに満席/空席がある場合のみ当日受講可)
会場：講堂
参加費：800円(入館料別途要)

●トクガワナイトミュージアム ver.5

日時：10月1日(土) 午後5時30分～8時

※各種講座・イベントへの申込方法など、詳しくは当館ホームページをご覧ください。

感染防止に充分留意し、
2年ぶりに開催致します。

10月9日(日) 表千家吉田生風会
10月10日(月・祝) 表千家名古屋生会
10月15日(土) 宗徧流 愛知
10月16日(日) 裏千家淡交会愛知第三支部
10月22日(土) 裏千家淡交会愛知第二支部
10月23日(日) 裏千家淡交会愛知第一支部

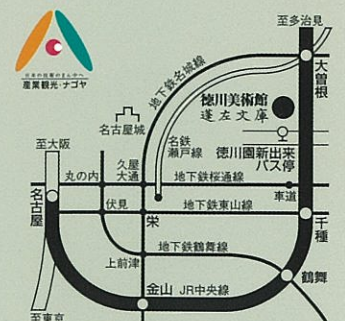
会費：23,000円(入館料・濃茶・薄茶・点心)
事前申込制/定員になり次第締切
8月24日(水) 午前10時より受付開始

令和4年度 徳川茶会

[新型コロナウイルス感染症対策]

●マスクを着用してご来館ください。●入口にて検温を実施しております。●展示室内での会話はお控えください。●今後の状況によっては、展覧会・イベントが変更・中止となる場合がございます。

表面：重要文化財 唐物茶壺 銘 松花 大名物 珠光・北向道陳・織田信長・豊臣秀吉・徳川家康ほか所持 南宋・元時代 13-14世紀



徳川美術館・蓬左文庫
〒461-0023 名古屋市東区徳川町
●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
●メーグル「徳川園・徳川美術館 蓬左文庫」下車
●JR 中央線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分